

小池千枝コレクション 世界の民俗人形博物館 (須坂市)

「世界の民俗人形博物館」は、小池千枝[※]氏が、ファッションの研究のために100を超える世界の国から集めた人形約3,000体を展示した博物館です。これらのコレクションは、民俗人形のほかパリコレ限定のブランド人形、マネキンとして使われたビスクドール、蠟でできたワックスドールやドールハウスなどがあります。いずれもファッションの変遷やその歴史に関連づけて展示されています。



※小池千枝氏は須坂市出身。日本における「立体裁断」を中心としたデザイン論を確立し、世界で活躍する多くの人材(高田賢三や山本耀司、コシノジュンコ、コシノヒロコ姉妹など)の育成に貢献しました。

展示メインホールのタペストリー:パリのサンローランアトリエでの写真(左から)イヴ・サンローラン、小池千枝、高田賢三の3ショット

衣服は、人類が体温調節のため動物の毛皮や植物〜布などの素材を身に着けることから始まり、地域の気候風土や文化によってさまざまな発展をとげてきました。「ファッションの原点は民族衣装」という小池氏の言葉通り、民族衣装が現代ファッションにつながっていることや、服飾の文化は生活の文化でもあり地域色豊かなことがわかります。

館内はゆるやかなスロープがあり、最上階の展望室まで車椅子やベビーカーで行くことができます。また常設展のほか、さまざまな企画展やワークショップもおこなっています(ワークショップはLINEでも予約できます)。



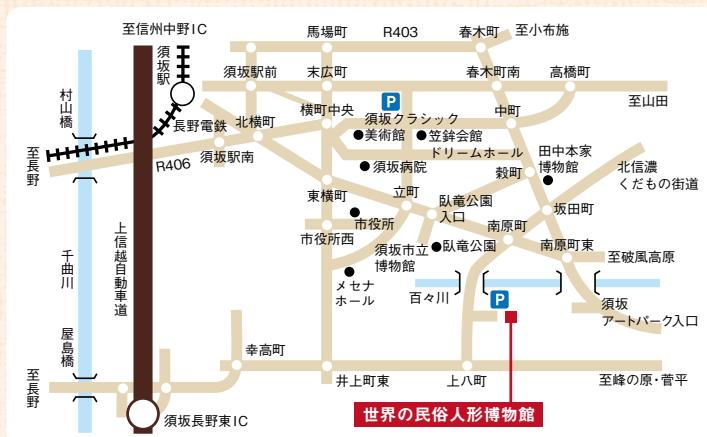
世界中の人形を5大陸の特徴解説と合わせて展示しています



160年前、フランス貴族のオートクチュール(高級仕立服)注文用に使われたというビスクドール。(手足はヤギ皮を用いられたものが多い)

MAP & アクセス

【車で】 上信越自動車道須坂長野東ICから約8分
【電車で】 長野電鉄須坂駅からタクシーに乗り換え約8分



お問い合わせ

世界の民俗人形博物館
須坂市大字野辺1367-1 (須坂アートパーク内)
TEL : 026-245-2340
URL : <http://www.culture-suzaka.or.jp/doll/>

ご利用案内

休館日 水曜日

入館料 300円
高校生以下及び
18歳未満無料

※須坂市在住70歳以上、
障害者手帳をお持ちの方無料

開館時間 9:00 ~ 17:00
(入館は16:30まで)



現代人形作家による作品



1月から4月までは三十段飾り千体の雛祭り(江戸時代後期から現代のお雛様)が展示ホールいっぱい飾られます。

時代によって変わる着物の色や柄、顔の表情を存分に楽しめ、その迫力に圧倒されます。